

(5) 世代間交流

近年、都市化や核家族化が進行し、子どもたちが身近に高齢者と接する機会は少なくなって、高齢者との関係が希薄化するなどの問題が生じています。

保育所では、子どもたちが祖父母や地域の高齢者及び施設に入所している高齢者とふれあう機会をもち、伝承遊びを教えてもらったり、昔話を聞いたりして交流することを通して、高齢者を理解し大切にすることを心が育つようにします。

人権保育の視点

- ・ 子どもたちがいろいろな場面で高齢者とかかわる中で、歳を重ねるということや、命について考えることができるようにする。
- ・ 伝承遊びなどの文化を伝えてもらい、教わったことに喜びや感動を味わうことを大切にする。また、交流を通して高齢者のいろいろな面を知り、大切にすることを心が育つようにする。
- ・ 高齢者の持つ、ゆったりと穏やかに流れる時間を共有することで、子どもたちが安らぎを得られるようにする。

具体的な対応

- ・ 高齢者が登場する絵本などを積極的に取り入れ、高齢者を身近に感じ親しみを持てるようにする。
- ・ 保育者自身が高齢者を尊敬し大切にすることを気持ちで、ゆったりとやさしく接するように心がける。
- ・ 子どもたちの素直な反応や疑問を受けとめ、丁寧に対応しながら、祖父母や地域の高齢者との交流を楽しむことができるようにする。
- ・ 地域の関連施設、学区や町内の人々と連携を図り、協力してより楽しい交流ができるようにする。
- ・ 保護者に対しては、乳幼児期からいろいろな人とかかわる経験をして、豊かな感性を育むことの大切さ、世代間交流の必要性を伝えていく。